

幹 事 会

(平成18年12月1日)

1. 開催概況

日時：平成 18 年 12 月 1 日（金） 15:00～17:00

場所：幸亭（鶴岡市東原町 12-5）

協議内容：

- ① 自主企画事業
 - 1) 森のマイスター養成プログラム
 - 2) 樹木の里親プログラム
- ② サポーター制度について
- ③ 「月山ダム水源地域フォーラム」の開催
- ④ その他
- ⑤ 協働取り組み事業
 - 1) 「森と水そして月光のしらべ」コンサート
 - 2) ダムに来るきっかけ作りのミニ講座

【会議風景】



2. 主な意見

① 自主企画事業

1) 森のマイスター養成プログラム

- 「ゆうゆうの森」借用を進めてきたが、先頭に立っていた高橋氏が都合によりネットワークに参加できなくなった。そのため借りることができても、日常的な手入れをすることができない。
- 11月8日にお話を聞いた、朝日庁舎の渡部洋一氏が構想を練っている「鶴岡市民 癒しの森整備」と共同でできるのではないか。
- 山大農学部の演習林であれば、使いたいときに許可を得れば使えるので、そちらを拠点にしてはどうか。
- 「ゆうゆうの森」予定地は場所的にはすばらしい。できればそこにインストラクターを呼んで講座を開けたらいいのだが、どうしても日常的な管理は今の人員では無理。
- いきなり「森のマイスター」を育てるのではなく、自然観察会など小規模なものをいくつかやって、だんだん実績を踏んでから森の借り入れ、森林整備に発展させていくべきだ。

結論：ネットワークの活動拠点となる「ゆうゆうの森」についてはもう少し検討していく。

2) 樹木の里親プログラム

- 「森のマイスター」もそうだが、ある程度チームを組んで具体的に進めていきたい。
- 来年度から森林環境税が導入される。先日県にヒアリングに行ったら、ネットワーク活動との合致点が十分あるので、資金的な援助ももらえそう。そのためにも、ある程度目に見えた予定を立てる必要がある。

結論：協議⑤の2)での「ミニ講座」を基本として、皆さんの得意分野を活かした講座を来年度実施していく。

② サポーター制度について

- 今年はチラシを作成し、イベントなどで配布してきたところ、全体会でも紹介した方を含め、5名の方が登録してくださった。

結論：ネットワーク幹事にもチラシを配布するので、興味のある方にどんどん参加していただきたい。（不足な場合、事務局へ）

③ 「月山ダム水源地域フォーラム」の開催

- 今年度はある程度、ネットワークの活動を進めていくに当たって、ノウハウを研究した1年。平成20年度ごろ、交流と情報の受発信といった意味で、フォーラムを開催したい。
- 他の地域のビジョン関係者と意見交換、ディスカッションも良いのでは？
- 地球に異変が起きている今だからこそ、行く、知る、見る、親しむということが大事。

結論：20年度開催を視野に入れて、来年度の活動を充実させていく。

④ その他

- 特になし

⑤ 協働取り組み事業

1) 「森と水そして月光のしらべ」コンサート

- 来年度の実施に関しては、6月16日、17日と決定している。1部は「世界子供音楽フェスティバル」として、世界から子供を呼び、たしろ多目的広場で合唱を披露する予定。
- 本番は15時から17時だが、その前にリハーサルをしながら、広場に「日本の遊びコーナー」を設けて、外国の子供たちに体験していただく予定。スタッフは地元の大学生、小学生に依頼。
- それ以外にも2部は18時から今年と同じような内容でコンサートを、そして翌日には第3部として千手ブナへのトレッキング、コンサートを

を予定している。

結論：「日本の遊びコーナー」などで、ネットワークも関わっていきたい。詳細が決まり次第、協力体制を整える。

2) ダムに来るきっかけ作りのミニ講座

- 周辺地域においての月山ダムの知名度、意外に低い。そこで豊富な自然を利用したミニイベント、ミニ講座を計画してみてもどうか。
- 「森のマイスター養成」「樹木の里親プロジェクト」へつなげる活動としても有効ではないか。
- 委員の中にも、得意分野がそれぞれある。それらを申告しあって、魅力的なイベントを作っていきたい。
- 子供向けだけでなく、大人を対象にしたイベント（例えば「写真教室」や「山菜・きのこ」「植物観察」など）を開催してみてもは？
- 六十里越街道も絡めたイベントも考えられる。
- 展示会などをしていけば、インフォメーションホールや旧インフォメーションセンターの活用にもつながる。

結論：ニーズや専門、興味のあることを、委員一人ひとりに申告していただき、それらをもとに、連携、分担してミニ講座を開催していく。